



(明治)

十二支・竜



(明治)

七福神



# 清酒のラベルが マッチのラベルに

— 宣伝材料としてのマッチラベルを楽しむ —

下島正夫著

『マッチラベル～  
明治・大正・昭和  
燐票博物館』を見る

**さ** あ、西暦2000年。今年こそ景気  
上昇の「赤い炎」がパツと燃え上が  
つて欲しいものです。ということと新年の  
「酒天之美祿」は、これまでと趣を替え  
て、「火の元」であるマッチのラベルを見  
ていきたいと思えます。

マッチ、漢字で書けば「燐寸」は、時期は  
明らかではありませんがスウエーデンで発明  
されました。それが日本へ入ってきたのは  
鎖国令を敷いていた江戸時代、長崎へや  
つてきたオランダの人の手によります。  
「キリシタンパレンが妖術で爪の先から  
火を出した！」と日本人は腰を抜かした  
そうです。

時は流れて明治時代、マッチを小さな箱  
に入れ、ラベルをつければ「宣伝に使える」  
と考えた人がいました。マスメディアが発  
達する前、確かにマッチは宣伝材料として

独特な力を発揮し、燎原の火のように全  
国に拡がり1000円ライター、街頭でのテ  
ィッシュ配布にその座を取つて代わられる  
まで、簡易宣材として、愛されてきたのは  
記憶に新しいところです。

そして忘れてならないのが、ラベルの芸  
術性です。その製作者に、名前のある美術  
家は登場しませんが、市井の名も無き人  
たちが掌に包みこまれる小さなスペース  
の中に見事な「ラベル芸術」の世界を確立  
してきたのです。

二十世紀最後のお正月、ご家族そろつて  
マッチラベルの世界をお楽しみください。

ここに掲載するラベルは多摩美術大学  
図案科教授をつとめられた下島正夫氏の  
『マッチラベル』明治・大正・昭和・燐票博  
物館（駸々堂出版株式会社、1989年  
刊、絶版）から引用しました。

# 花 札

(大正～昭和)



# 日本酒

(大正～昭和)



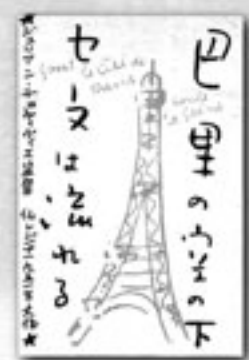
(大正～昭和) **ビール**



**やめやソト!**  
 時勢に便應し清潔健康  
 合理的な本位とすしと毎  
 日手軽に食せしめ  
 たくお酒をのこせし  
 酒造り  
 一品料理 樽  
 之るこ五  
 あんり  
 日本酒一  
 コーレ一本



**映画**





# 清酒のラベルが マッチのラベルに

—宣伝材料としてのマッチラベルを楽しむ—



# ソフト ドリンク

(大正～昭和)



# ビアホール

(大正～昭和)



# カフェー

(大正～昭和)



※マッチラベル掲載にあたり、出版元の了解はいただきましたが、著者下島正夫氏の連絡先が確認できず、著者了解なしの掲載となりました。下島氏の情報をご存じの方がおられましたらご連絡ください。